

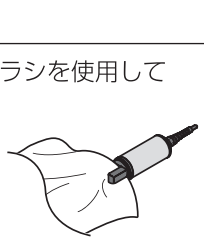
ハンディMLSS計
簡易取扱説明書

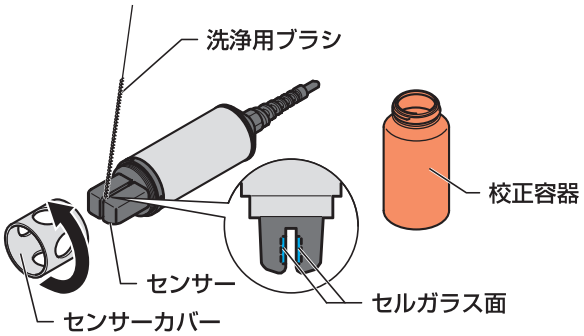
◆測定開始前に必ずゼロ校正をしてください。（1日1回で可）

1. ゼロ校正

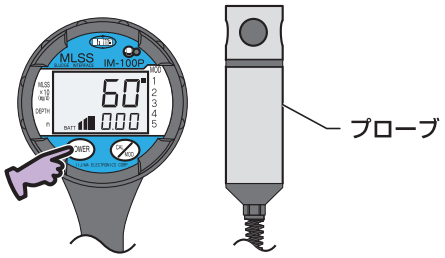
1. センサーカバー、センサー、セルガラス面、校正容器を洗浄します。

> セルガラス面は洗浄用ブラシを使用して洗浄してください。
>
> セルガラス面は水滴が残らないように拭き取ってください。



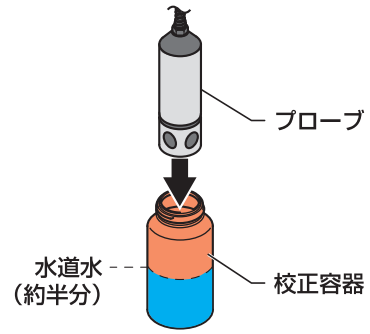


2. プローブを大気中に出した状態で電源をONにします。
（POWERキーを押してください）



3. 水道水を校正容器に約半分入れます。

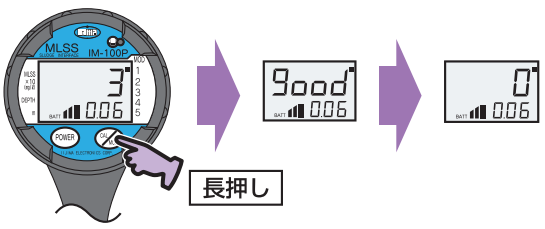
4. プローブを校正容器の底までゆっくり入れます。



5. 数値が安定したらCAL/MODキーを1秒以上長押しします。

『good』表示が出たら数値が0mg/Lになります。
ゼロ校正は完了です。

『Err4』表示が出たらセルガラス面の水滴を拭き取り、**2.**からやりなおしてください。



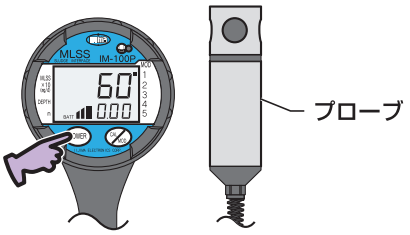
(IM-100P/80P/50P)

この取扱説明書は簡易版として作成してあります。
操作の詳細、注意事項については製品付属の「取扱説明書」に従ってください。

2. 測定方法

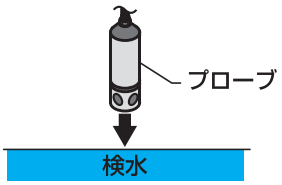
1. プローブを大気中に出した状態で電源をONにします。
(POWERキーを押してください)

2. 必要に応じてモード選択をしてください。
(「モード選択」参照)



3. プローブを検水にゆっくり入れます。

4. 数値が安定したら読み取ります。
※数値は1/10の表示です。
10倍にして読み取ってください。



数値が安定しない場合

・指示値ふらつき緩和機能の設定値(0 ～ 20)を変更してください。(取扱説明書参照)

測定の応答が早い　0 ←→ 20　測定の安定性が良い

◆測定後は必ずセンサーを洗浄してください。

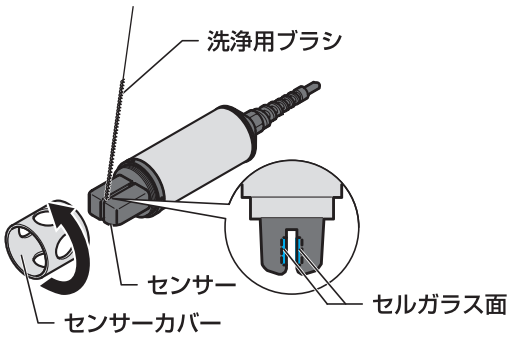
洗浄作業中は蛇口からの水を直接センサーに当てないでください。



1. センサーカバーを外します。

2. センサーカバー、センサー、セルガラス面を洗浄用ブラシで洗浄します。

汚れが落ちない場合は中性洗剤を使用してください。



3. センサーをきれいな水でよくすすぎます。



4. 乾いたタオルの端などでセルガラス面を拭きます。

水滴が残らないようにしてください。



モード選択　IM-50Pにはモード選択機能はありません。

こんな時に必要

・複数の測定箇所に合わせて使い分ける場合
・排水(流入水)や汚泥成分が変化し、手分析値と合わない場合

モードの選び方

検水のMLSS値が分かりますか

分かる場合

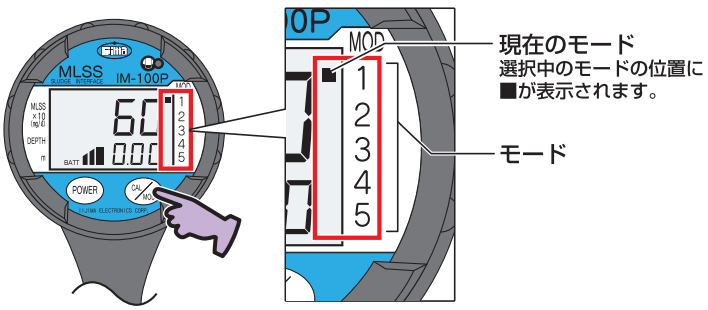
分からない場合

業者に分析を依頼する。
依頼できる業者がいない場合は弊社までお問合せください。

自社で分析を実施する。

手分析値に近い値が出るモードを選択する。
より正確に測定したい場合、2点校正(スパン校正)の実施をおすすめします。

CAL/MOD を押すと、モードが切り替わります。



2点校正

こんな時に必要

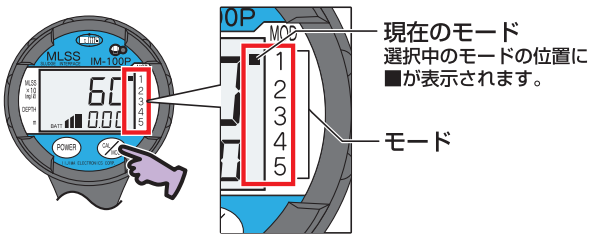
- 検水の測定値が手分析値と合わない場合
- 検水の色が変化し、手分析値と合わない場合
- 排水(流入水)や汚泥成分が変化し、手分析値と合わない場合

◆事前にゼロ校正を行ってください。(「1. ゼロ校正」参照)

1. ラバープロテクターを取り外し、電池フタを開けます。

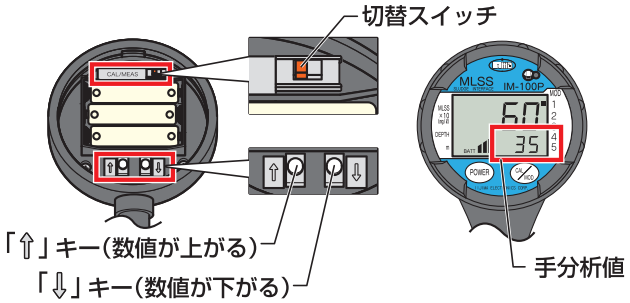


2. 校正したいモードを選択します。
※電源が切れている場合は電源を入れてください。



3. 切替スイッチを (CAL側:左)にします。

4. 「⇧」「⇩」キーを押して、
表示部下段の数値を手分析値に合わせます。
※数値は1/100の表示です。
1/100にした数値を入力してください。

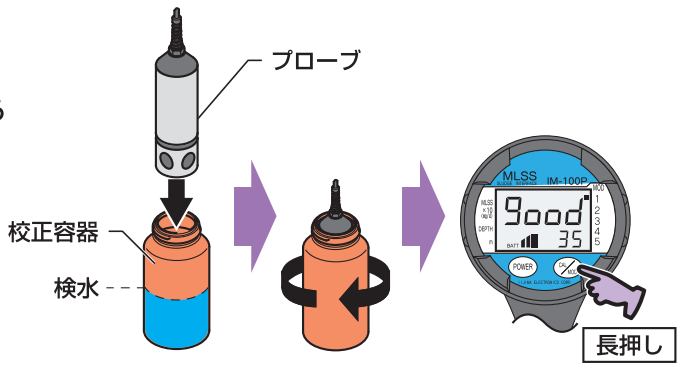


5. 付属の校正容器に検水を約半分入れてからプローブを入れます。

6. 円を描くように容器を回し、数値が安定したら CAL/MOD キーを1秒以上長押しします。

7. 『Good』表示が出たら切替スイッチを (MEAS側:右)にします。

8. 電池フタを閉め、ラバープロテクターを取り付けます。(上記1の逆順)



IIJIMA 飯島電子工業株式会社
〒443-0011 愛知県蒲郡市豊岡町石田1-1
TEL: 0120-67-2827 FAX: 0120-69-6814
https://www.iijima-e.co.jp/

IMPTS-0310